

JAAC だより

就職活動最前線レポート（2）

— “学部間格差”と“大学間格差”とは・・・？ —

前号では、私の知人であり、また、公私共に恩師でもあるお二人の元大学教授（現非常勤講師）のT先生とO先生に、2000年ごろの“就職氷河期”と言われた時期と、今年就職状況とを比べながらご意見を伺いました。今号では、今年就職状況において、“学部間格差”や“大学間格差”というものがどのように影響しているのかをまとめてみたいと思います。

最近就職状況を見る上で『“学部間格差”と“大学間格差”は確かにありますね』とT先生は言います。これは以前からあるもので、単純に『この学部が就職に有利・・・』とか、『ランクが上の有名大学が就職に有利・・・』ということで語られるものではありません。確かに、今年就職内定率を見ると、高い内定率を得た“学部”や“大学”があります。ここ数年の状況を見る限り、「看護系」、「生命科学系」や「理工系」、「水産・海洋系」と言った学部出身者の学生が高い内定率を得ているようです。「看護系」出身者は高齢化する日本社会において必要不可欠な人材として確保されるわけですし、また、「生命科学系」や「理工系」の学生は未来を見据えた、新しい発見や発明、開発と言った人類の将来と未来に大きく関わる分野での活躍を期待されています。このように、中長期的なスパンでの社会的ニーズが“今・現在”どの分野に、どの位あるのか、ということがその時、その時代の学生の就職に大きく影響すると思います。ここ2年くらいの中では、サブプライム・ローン問題やリーマンショックなどの影響から、「国際関係」や「商学・経営系」、「経済系」と言った学部の出身者の内定率は下がり傾向を示しています。それだけ、金融や証券、商社と言った大手企業をはじめ、大手メーカーや中堅の一般企業にいたるまでが、人材を絞り込んで採用してきたと言えましょう。このように企業が“絞込み採用”を実施するとすると、結果的にはどうしてもある程度上位ランクにある大学出身者を望む傾向が出てしまうのではないのでしょうか。

また、O先生は『内定率における“大学間格差”は、結果的には“学部間格差”の延長線上にあるものではないか』と述べられています。確かに、世間一般的にみて上位ランクにある大学の学生から就職先が決まっていくという傾向はあるでしょう。しかし、早めに内定をもらう学生全てが上位ランクの大学出身者とは限りません。結論を急ぐわけではありませんが、内定率の高い大学とは、その大学で学ぶカリキュラムが実社会と企業のニーズに即している、という点に着目すべきだと思います。ですから、実社会や企業が求めている「知識」や「理論」、「技術」、「実技」と言った内容を授業とカリキュラムの中に取り込んでいる“学部”を有する“大学”の出身者が、(比較的)高い内定率を得ている、と考えられるのです。非常に特別な例かもしれませんが、トヨタ自動車が発立した小規模の理工系単科大学として知られている私立豊田工業大学（愛知県）卒業者の内定率は100%である、という例があります。この大学では卒業生全員がトヨタ自動車に就職するわけではないのに、卒業生全員がいわゆる有名・優良企業へ就職しています。これはある意味では特殊なケースかもしれませんが、しかしながら、現在の社会状況の中で求人率が高いと言われる「看護系」、「医療栄養・医療情報系」、「工学系」と言った学部で学ぶ学生にとっては、それらの専門課程を“どの大学で学んでいるのか”が、就職内定に影響していると考えられます。この事が、先に述べた“大学間格差”として現れているのではないのでしょうか。ですから、一概に、広く世間に知られている有名（又は一流と言われている）大学と言われている大学出身者だけが高い内定率を得ているわけではないと思いますし、ましてや、内定率における“大学間格差”というものは、俗に言われる“大学のレベル”によって“有名（一流）”、“無名（二流）”と分けられている“大学の格差”とは異なるということを理解する必要があります。多くの皆さんが感じていられるように、ここ約10年間で多くの大学が新規の学部を開設してきています。これらの新しく設置された学部や学科は、その名称からも分かるように、将来の（あるいは既に現在の）実社会で必要とされている分野やテーマを学部名・学科名として冠しています。それは、大学と社会との結びつきをより深いものにして行こうと試みている姿でもあります。

『今まで述べてきたように、社会や企業のニーズによって内定を取りやすい学部と、そうでない学部があることは事実だと思いますが、特殊な専門性を必要としない分野での人材を求める場合、一般に企業側は学生を学部によって採用、不採用を決めることはない、と言われています』と、T先生はつけ加えています。長年に渡って多くの就職活動を支援、サポートしている会社のカウンセラーも同じ見方をしている方が多いようです。

カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：新井 康平)

【えっ、もうこんな時期・・・?】最近、時が経つのがとても速く感じます。ついこの間始まったと思った今学期も、今月末には終わり、来月からは春学期が始まります。春休み中に UCI に来て短期研修を行った日本の大学生グループも、無事に研修を終えて帰国しました。日本の大学生によってつい最近まで賑わっていた UCI エクステンションも、どこことなく活気が失せたようにも見える、今日このごろです。前回の JAAC だよりには、春の訪れを感じるカリフォルニアの様子を紹介しましたが、実はカリフォルニアの春は短いんです。雨が比較的多い1月と2月が終れば、少しずつ暑い日々が多くなり、春が来たかなと思ったら、間もなく本格的な夏のシーズンがそこまで近づいてきているようです。UCI では大学の授業もエクステンションの ESL 英語研修も約 10 週間を1学期とするクォーター制(夏学期を含めて年4学期制)で行われています。ですから、ほぼ5週間に一度、Mid-Term (中間試験)と Final-Exam (期末試験)があることになります。その度に学生達は忙しくもなり、慌しくなります。そして、今年の冬学期が間もなく終ろうとしているということは、既に、今年も4分の1が終ろうとしていることなのですね。私は常時 UCI にいるので、時の移り変わりを季節の変化や肌で感じるのではなく、キャンパスを歩き交う学生達の様子で感じる事が多いです。いつの間にか、学生達の服装も薄着になり(もともとカリフォルニアの学生は薄着ですが(笑))、季節の移り変わりと、時の経過を確かなものとして感じています。

ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【思い込みは危険!】私がまだカリフォルニアに住んでいる時、運転中の私の方向感覚の無さに驚かされていた友人がいました。ある時、彼が私にある場所への行き方を教えてくれた際に、『想像で走らないようにねっ』と念を押されました。最近、留学準備を進めている JAAC 生にワークシートを使って英語指導を行っています。その際に時々、私の友人が言ったことばを受け売りにしています。実際に、ここミズーリの大学に留学している学生に、『想像で物事を進めてはだめだよ』と言いたいほどです。私の友人が言わんとしたことは、『余計なことを加えたり差し引いたりしないで、きちんと指示に従いなさい』ということなんです。それはワークシートや宿題をする際にぴったりと当てはまることです。学生がワークシートで練習問題をする時に、『これは前にもやった問題に似ているから、やり方は分かるぞ・・・』と独り言を口にするのを私は良く知っています。正しいやり方を読まずに自分の想像で練習問題に取り組み、結果として、指示されたこととは違うことをしてしまい点を失うはめになります。クラスで課題を提出する際も、提出する方法と時期が指示されたことと違って、思わぬ失点をしてしまう場合がありますね。芸術や新技術の開発、ファッションの分野などでは、想像力は大事なことです。問題の解き方や、やり方の説明などがきちんとある場合は、変な想像の仕方はかえって間違いや失点を招いてしまいます。説明や指示内容を良く読むことは、自分勝手な想像を抑制してくれるものなのです。

— ● ノートの取り方とまとめ方次第で成績は上がるかも ● —

[カリフォルニア事務局： 照井 紀久夫]

大学の授業でノートを取り、それらを上手くまとめることの難しさは、留学生であれば誰でも感じていることだと思います。そこで今回は、上手なノートの取り方とまとめ方について考えてみたいと思います。もちろんそれは、試験勉強にも役立つものでなければいけません。ノートの取り方は個人によって異なりますが、大まかに分けると次の3つのタイプがあるようです。

1. 写実派タイプ： 先生が黒板に書いたことを忠実にそのまま書き写すタイプ。それ以外は、あまり書かない。
2. 印象派タイプ： 授業を聞いていて、自分なりの考えで大切だと思った箇所を、自分がイメージしたことばで書き留めておくタイプ。
3. ディクテーション(聴き取り)派タイプ： 授業中、先生が言ったことを可能な限り一言一句漏らさずに書き取ろうとするタイプ。

どこもなく中世ヨーロッパで発達した絵画の技法のような呼び方ですが、皆さんはどのタイプに当てはまりそうですか? どのタイプもメリットとデメリットがありますよね。『写実派タイプ』では、先生が黒板に書いた事柄は忠実に書き写しますが、その他は自分の記憶に頼らなければなりません。『印象派タイプ』の方は、授業内容で特に印象に残った事柄を自分がイメージしたことばで書き留める傾向があり、時としてそれは授業本来の論点からズレてしまう恐れがあります。そして、『ディクテーション派タイプ』の方は先生の言ったことばそのものを聴き取ることと、それらを書くことに専念するあまり、大切なポイントを聞き逃してしまう傾向にあります。とにかく、速記でも使わない限り、人が言ったことをそのまま書くことは不可能なことです。

しかし、実際にはその場の状況に合わせて、これら3つのタイプを上手い具合に取り混ぜてノートを取ることが理想的だと思います。最も重要なことは、授業中に取ったノートはあくまでもメモ的な役割のものとし、後でそれらを基にして別途自分なりのノートを作成し、完成させることです。テキストに書かれているポイントを書き出したり、注釈を付けたりしながら、基本的には予習と復習によって、自分なりの参考書ともいべきノートを一冊完成させることです。授業中にメモとして取ったものは、先生が黒板に書いたものなのか、または、自分の思ったことを走り書きしたものなのか、それとも先生が言ったこと全てを聴き取って書いたものなのかをはっきり区別しておくことが大事です。色物のボールペンやマーカーなどを駆使して、自分流にまとめたノートこそが試験勉強にも役立つ参考書となることでしょう。一見、面倒くさいように思われがちですが、この一手間をかけるか、かけないかが成績を左右する重要な要素となるでしょう。来学期は是非、この方法を試してみてください。

Siesta ちょっと、一休みしませんか…？

～ キリスト教における十字の切り方の違い ～

アメリカに留学している皆さんの周りには多くのキリスト教徒がいらっしやると思います。ミズーリやカリフォルニアでも、また、それ以外の土地においても、皆さんの住む町には必ずと言って良いほど教会がありますよね。一般にキリスト教徒の方はお祈りなどの時に十字を切る、と思われていますが、その作法は教派によって異なることをご存知ですか？ カトリック教会の場合は、額>胸>左肩>右肩の順に十字を切り、旧ソ連邦や東欧を中心とする東方正教会では額>胸>右肩>左肩の順で十字を切ります。また、ルター派やメソジスト派、バプティスト派に代表されるプロテスタントの諸教会では、一般的に十字を切ることはありません。世界各国から選手が集まるオリンピックなどでは、競技の前に十字を切って勝利と無事を祈る選手がいます。その際の十字を切る作法を見ていると、その選手の教派が分かるものです。TV観戦ならではの、チョットとした楽しみ方ですね。

Help Line

FAQ

「短大卒でもCAになれますか？」

A: 結論から申し上げて、CA (キャビンアテンダント) は短大卒業資格でもなれる職業です。もちろん、アメリカの短大卒業資格でも就職できます。日本の航空会社のCAには専門学校卒業者や短大卒者、そして、4大卒者がいます。入社後にそれぞれの適正に従ってCAになるための訓練と教育が行われます。CAは単に英語ができれば良いという職業ではありません。また、機内において飲食のサービスを行うだけの職業でもありません。飛行機という特別な乗り物であることから、乗客の不安を和らげたり、緊急時にこそ冷静な判断で乗客の安全を確保することに努めなくてはならない、ある意味では難しい職業と言えるでしょう。文字通り、体力と精神力が要求される仕事です。その点は大丈夫ですか？

【編集後記】 ●バンクーバーオリンピックが無事に閉幕した。今は同地で冬のパラリンピックが開催されている。参加している日本人選手の中でメダルを獲得した選手もいる。彼らの存在は身体に障害を持つ人たちに勇気と希望を与えてくれると思う。おめでとう、ニッポン！ ありがとう、ニッポン！！▼3月は卒業式シーズンである。大学の卒業式の様子がTVニュースで取り上げられている。卒業生の中の5人に一人が就職浪人となる計算だそう。東京の青山学院大学では今年就職ができなかった学生の救済処置として、就職活動のための留年（授業料の半額を納入）を認める処置を打ち出し、他の大学にも広まりつつあるという■アメリカ国内でのトヨタ・バッシングがやはり起きてしまった。欠陥申請の遅れを生じさせたトヨタに非はあるものの、今回のリコール騒動に乗じて“やらせ行為”とも取れる虚偽の事故トラブルを警察やマスコミに流したアメリカ人がいたことは実に残念に思う。そして、悲しい▲JAAC生の中にもCA (キャビンアテンダント) になることを希望している女子学生が何人かいることだろう。JALをはじめとする日本の航空業界はこれから難しい局面を迎える。JALでは大規模な人員削減策が実施される。そんな中、CAになることを望んでいる学生の夢だけは叶えてあげたい。大変だけど、頑張れ！！◆秋葉原、銀座、新宿といった日本を代表する繁華街での中国人観光客による“爆買い”が話題を呼んでいる。一頃の日本人旅行者が海外でブランド品を漁るように買い付けた時と同じように、今は中国の一部の都市部に住む富裕層が日本製の電化製品やブランド品を買い漁っている、と言ってもいい。中には、一度に100万円以上の買い物をしたり、首都圏のマンションや不動産を投資目的で購入する者もいると言う。これも、バブル期に日本企業がニューヨークの不動産を買い占めたことに良く似ている気がする♥やはり民主党政権の支持率も40%を割ってしまった。どの政党が政権を担っても同じ・・・ということなのか？。（照井）

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ (インフルエンザ A (H1N1)) における注意喚起の継続： 日米両国における患者数が徐々に減少し始めました。世界保健機関 (WHO) でも新型インフルエンザの世界的大流行 (パンデミック) の最盛期を過ぎたと考え始めています。しかしながら、皆さんには引き続きご注意をお願いしたいと思います。今頃のような季節の変わり目は風邪をひきやすく、体調を崩しやすい時期でもあります。栄養、睡眠、休養をバランス良く取り、外出後の手洗い、うがいを必ず行うように心がけましょう。

★米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラムへの参加： 2011年・2012年卒業予定の皆さんにおかれましては、日本や米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラム、海外大生を対象とした就職説明会などに積極的に参加されることをお勧めいたします。インターネット等でこれらのフェア開催日程を調べ、前もって皆さん各自のスケジュール調整を行い、多くの企業担当者やフェア開催団体のカウンセラーとの面談に努めてください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp